

ISE リリース 1.1.x および Apple iDevice プロファイルが UNKNOWN になる

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Apple デバイスの Unknown デバイスの問題を解決する方法について説明します。新しい Apple iDevice で、ISE データベースに組織固有識別子 (OUI) がいないために、Identity Services Engine (ISE) によって Unknown としてプロファイルされることがあります。この記事では、ISE の導入でこれらのデバイスを適切にプロファイルさせる 1 つの方法を説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

使用するコンポーネント

Cisco ISE リリース 1.1.x

Apple iOS デバイス

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

問題

一部の Apple iOS デバイスが ISE の導入に接続したときに、「Unknown」とプロファイルされることがあり、Apple iDevice に関連するポリシーが適用されません。

この問題は、新しく製造された Apple デバイスが、ISE データベースにまだ存在しない OUI を使用していることが原因です。

解決策

Apple デバイスの Unknown デバイスの問題を解決するには、OUI を手動で Apple プロファイルポリシーに追加する必要があります。これにより、確実度計数が必須の最小レベルまで増えるため、デバイスが適切なエンドポイントグループに配置されます。

ISE 管理者 GUI で、[Policy] > [Profiling] > [Profiling Policies] を選択し、左側のペインから [Apple-Device] 親ポリシーを選択します。子ポリシー (Apple-iPad、Apple-iPhone など) は、条件をそのまま使用しても、プロファイルの結果に影響しません。OUI を画面に追加する必要があります。

[Profiler Policy for Apple-Device] で、[New Condition] を使用して "If" 条件のある新しいルールを追加します ([Advance Option])。[MAC] カテゴリを選択して、[MACAddress] 変数を選択します。ルールを [CONTAINS] に設定して、テキストフィールドにデバイスの OUI を入力します。最後に、Apple デバイスポリシーのデフォルト設定を満たすために、確実度計数を 10 増やします。次の例では、iPad Mini の OUI を示します。

変更を保存します。これで、エンドポイントが Apple iDevice として適切にプロファイルされています。

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)